



料金後納

ゆうメール

(株)育脳寺子屋MAC 本部教室 MAC真成熟
〒616-8156 京都市右京区太秦西野町20
電話:(075)871-0374 FAX:(075)882-3777

2016年
2月号

Mathematics Abacus Chinese character

MAC NEWS

お子さんが大人になった時、社会で活躍できるヒントがいっぱい！！

なぜ親にまで「感想文」を書かせるの！？



MACでは育脳トライアル、ことばのワーク、育脳計算ワークが終わる度に生徒本人、親御さん共に感想文を書いて頂いています。その提出がないと次の一冊をもらえないばかりか「忘れ物」をしたということで、授業を受けられず帰らされます。

正直「なぜ親が感想文を書かないといけないの??」と思われた、もしくは今もそう思われている親御さんが多いのではと思います。特にお子さんが複数人MACに通っている親御さんからすると大変な労力だと理解しています。

僕も娘が通う幼稚園でイベントがある度、提出しなければならない感想文があるので「またかあ」と思いながらもしっかりと、びっしり書いています(笑)

なぜ親まで感想文を書く必要があるのか??その理由は大きく2点です。

①「お子さんの学習意欲向上の為」

育脳トライアルは月間教材となっているので、ほぼひと月に1冊のペースで進みます。生徒本人からすれば、ひと月かけて一冊のテキストをやり終える事は非常に大きな達成感・満足感を得ることができます。さらに親がそのテキストを見てくれて、感想まで書いてくれれば「よし、次も頑張ろう!もっとたくさん〇をもらえるようにしよう」と、学習意欲が増すのです。

親に感想文を書いてもらう＝ちゃんと自分の事を見てもらっているという安心感から、良い学習習慣を身に付けられるようになります。

②「わが子の成長を把握して頂く為」

「うわ～うちの子、この問題に対してこんな答え書くんだった」と、子どもの内面を垣間見た気がしました。という感想文を頂いた事がありました。

子どもたちは日々成長しています。毎月、毎月子どもたちの解き終えた育脳トライアルを見ていると、日々の成長がはっきり見えてきます。書く文字、思考力、発想力などなど。

このちょっとずつの成長をしっかりと感じ、見守ってあげて欲しいのです。

大人はどうしてもすぐ結果を求めがちです。特に目に見えて分かる成績（テストなどの数字）の面で。しかし、子どもたちの「ぐっと伸びる時期」は本当に様々です。小学校中学年くらいで一気にお兄さんお姉さんになったなという子もいれば、高学年で急に勉強ができるようになったな・・・という子も、中学に入ってある時期から一気に成績が上がった・・・など10人いたら10通りなのです。

すぐに結果が出ていないからといって、今取り組んでいることを否定しないようにして下さい。親がそうすると子どもは根気強くひとつの事に取り組めなくなります。

すぐに役立つことは、すぐに役立たなくなる

これは伝説の教師と言われている灘高の橋本武先生の言葉です。今はインターネットによって、たいていの知識は検索ですぐに得られる時代になっています。こういう時代に大事なことは、効率的にたくさんの知識を詰め込むことではなく、少しでも興味、関心があったら横道にそれて、自分で調べ、自分で考え、理解し、その知識を自分の行動に役立てていくことだと思います。

そうして得た知識、知恵、経験といったばらばらの点だったものが次第に繋がって、線になり、面になり、確実な自分の力になっていくのだと思います。つまり、将来的に本当に役に立つ力はすぐには身に付かないし、なかなか目にも見えにくいものなのです。

今の子どもたちはまさにその作業の真っ最中です。すぐに結果（成績）を求めるのではなく、

長い目で見守ってあげて下さいね。

感想文を書く際のお願い

ひと月に一度、ほんの 10 分程の時間ですので、お子さんと一緒にこの育脳トライアルをご覧ください。先述のように育脳トライアルは答えが一つでない問題や、○×で採点できない問題、自分の考えを述べる問題が数多く出題されています。

一緒に育脳トライアルをご覧くださいることにより、今、お子さんが何を考えているのか、また日々の成長を感じて頂く事ができます。

ただし、ご覧になる時は答えの間違いを指摘するのではなく、お子さんの説明に感動し、驚いて下さい。そして、その際に大切な事は、お子さんの眼を見て説明を受けて頂く事です。

お子さんのやっている事に関心を持って頂く事が、お子さんの持っている能力を大きく伸ばし、より良い学習習慣に繋がります。

子どもたちはお母さんが大好きです。お母さんがお子さんの取り組みに興味を持てば、嬉しそうに、楽しそうに話してくれます。(学年が上がるとそうでもない子も出始めますが・・(笑)だからと言って興味を持たなくなったらダメです。子どもの反応が悪いからと親からのアプローチが無くなると、子どもたちは「親は忙しそうで僕・私のことなんて見てない」と感じ始めます) お子さんの為にこの時間を大切にしてください。

※子どもたちと話していると、お母さんのここがイヤ! というのを耳にすることがあります。良く出てくるのは「〇〇さんちの□□君は～」などと、他の人と比べられる事です。自分なりに頑張っているけど、なかなか結果が出ない子もいます。それを他の家の友達と比べられるのがイヤなんですね。逆に「〇〇君はこれ持ってるから僕も欲しい」とお母さんに言ったら「よそはよそ、うちのうち!!」と言われたらしいです。さすが、お母さんが一枚上手(笑)

オリンピック選手と同じ練習をしたらみんな同じ記録が出せるか?

答えは否ですね。他の子と比べることはせず、我が子の成長を見つける努力をして頂ければ親も気が楽ですし、お子さんとも良い関係が築けるのではないのでしょうか。

さて、問題です！！

育脳トライアルには答えが一つでない問題が数多くあります。例えばこの問題、どんな答えを出されますか?? (ちなみに、小学2年生レベルの問題です)

● 事物・事象に対する知識
● 属性関係の把握
● 自由な発想と多面的着眼

いくのう
育脳トライアルプリント
なかま
仲間はずれ

所要時間 3 分 秒
正答数 5 問

なかま
仲間はずれはどれでしょう?

① ア イ ウ エ

ア: ナイフ
イ: フォーク
ウ: ペン
エ: 箸

解答例で言うと、

- ア・・・食べる時に使わない。 イ・・・これだけ先が分かれている
エ・・・これだけ二本 エ・・・これだけ刺したり切ったりではなくつまむもの
エ・・・これだけ木で、他は鉄の部分がある その他も多数ありますよ！！

つまり、考え方（定義の仕方）によって様々な解答になるのです。学校のテストでは答えは「ひとつ」なので○か×で採点され、「なぜその答えにしたの??」ということ聞かれることはほぼありません。M A Cでは低学年の間からこのような問題に取り組むことによって、楽しみながら思考力を鍛えているのです。(自分なりの考えで答えを出して○をもらえるので子どもたちは楽しいのです)

これからの時代は「知識」だけではなく「知恵」のある子でなければ生きていけません。様々な側面から物事を見る訓練を低学年の内から取り組んでおけば、固定概念ではなく柔軟な視点を持った子に育つのです。

丸つけをしていると本当に感心させられる解答が多く、日々楽しませてもらっています。

提出頂いた感想文を紹介致します

在塾生の紹介で、小学校の中学年になってから入塾してきた生徒さんです。頑張っている成果が自信となって出ているようで嬉しいです！

保護者欄

いつもお世話になっております。だいぶ間違いも減り、がんばっている様子がわかりました。本人も学校でもMACに通いだして自信が出てきているようで先生にも良い事だと言われました。私と宿題をしていると、怒ってばかりで、もっと早くMACにお世話になっていれば、もう少し早く成長をみれたのかと思うと可哀相なことしたなと反省です。これからもよろしくお願いします。

先月号で忘れものに関して書かせて頂きましたが、このような声も頂いています。ご理解頂きありがとうございます！！

保護者欄

お世話になってます。

忘れ物が夕方の様、マックに行く道中
自転車をこぎながらいつもドキドキすると先日話しました。
何故なら、消しゴムは忘れてないか、鉛筆は削ったか
など不安にかられるようです。マックで他の子どもが
忘れ物をして帰されるところを見て、忘れ物を
してはいけな！という意識が湧いてきて
いるようです。この緊張感、すごくいいです。普段なら、
次は忘れたいようにしようかと終わりになるところですが、
マックは違います。子供の頃からこのような指導法、
とても役にたります。よろしくお願ひ致します。

(記入されましたら、この用紙のみご提出ください)

次からは12月にお持ち帰り頂いた「親子で育脳トライアル」の感想です。

保護者欄

時間を計り、子供とやってみました。点描画は子供の音が早く美しく出来ているのが

親は時間をかけてやっているのにupされている。子供に直ぐ書かせる教えられる。普段の生活で
子供に教えられる事はあまりないので、とても新鮮で、しかも楽しかった。仲間はずれを探るという
問題は答えは一つではなく、親と子それぞれの考えや感じ方があるという事がよくわかる
問題でした。大げさですが、これから成長していく我が子が親とは違う意見をしっかりと伝えられる
訓練の役に感じられました。

いつも お世話になり ありがとうございます。

いつも 子どもたちが やっている 育脳トライアルを

一緒にやらせてもらいました。やり方がわからないかな?と

いう戸介は、「これは こうするんやで〜」と 教えてくれたり、

私が 時間がかかっていると「え〜 まだ やってるの〜 僕 おわつた
で〜」と ちよつと 誇らしげ..。

一緒に 楽しみながら 取り組めたので よかったです。

このような機会を 与えてくださり ありがとうございます。

いつも お世話になっております。

お正月ボケた 脳を シャキッと すぐ に 戻す ことが できました。

大人にも 聞いて いる。 とに なる 楽しい〜! 楽しい!! と。

感じ ながら 来ます。

子供 相手に 必死 なのが そんなに 差を 感じません

日々 成長 している。娘と 親子 一緒に できました

ありがとうございます。又、親子で 育脳 トライアル 楽しみに しています。

いつも お世話になり ありがとうございます。

「よいスタート」の 合同で 一緒に 取り組む 人が 多い ことが、お利 貝に なる こと

い 集中 して 頑張る ことに。私 自身も 問題を 1つ 1つ していく ことに どの 人 にも

2つ 3つ あります。 「なぜ かな?」と 感じ ながら やっていく 楽しい、自分 ひと

い こと への 楽しさ を 感じる こと ができる こと だと思います。

また、半年も 子どもと一緒に 楽しく 取り組む ことに 思います。

今年 後半 まで よろしく お楽しみ ください。

大人からしたら、ぱっと見は「こんな簡単な問題」と思われがちな育脳トライアルですが、実際に時間を計りながら解いてみると意外と難しかったり、考え込む問題が多いことにお気づき頂けたのではないのでしょうか。そして、それと同時に我が子の成長にも気づいて頂けたようです。

今年も12月に「親子で育脳トライアル」を配布する予定です。この一年でお子さんがどのような成長をするのか、今から楽しみにしておいて下さいね!